

# ノーシードも東邦が本命

## 愛知展望

春以降の練習試合で、関西の実力校を圧倒的な打力で撃破してきた東邦が優勝候補の筆頭。1番・関根から長身2番の小川、1年夏から3番に座り、主将で捕手の松井、左腕エース兼大砲の4番・三倉、広角に打てる5番・高木までの上位の左5人は、パワフル。球が軸の打線が援護すれば、悲願の夏初優勝を狙える。

威で押す三倉が制球で自滅するようだが、5年ぶりの夏代表に向けて進撃する。昨夏代表の愛工大名電は打力はやや劣るが、投手力ではやや劣るが、投手力で勝負。制球力のある左腕・東、速球派の松本が中心となる。昨秋の県大会準優勝の豊川は好右腕・森口を好打者・久保田が軸の打線が援護すれば、悲願の夏初優勝を狙える。

## 愛知大会のアラカルト

▼シード校 今春の県大会で優勝した春日丘、準優勝の栄徳を含め、愛産大三河、名南工、愛知啓成、中京大中京、愛工大名電、豊川のベスト8はシード校で3回戦から登場する。

▼開会式 7月6日午前10時から瑞穂球場で、同日は1試合のみ。ロンドン五輪に体操女子で出場した寺本明日香(名経大市)が、15日に大会が行われた後、20日に再入。21日から3日は予備日。

▼再抽選 準々決勝以降の組み合わせは5回戦が終了した日に岡崎市民球場で行われる再抽選で決まる。

年	優勝	スコア	準優勝
03	愛工大名電	3-0	豊田大谷
04	中京大中京	6-9	豊田大谷
05	愛工大名電	4-7	豊田大谷
06	愛工大名電	4-7	豊田大谷
07	愛工大名電	4-7	豊田大谷
08	東邦	3-1	豊田大谷
09	中京大中京	12-5	豊田大谷
10	中京大中京	19-0	豊田大谷
11	中京大中京	2-3	豊田大谷
12	愛工大名電	4-3	豊田大谷

【注】08年は第90回記念大会として、東愛知、西愛知の両大会を開催。

準々決勝	決勝
27日	27日
28日 10:00 岡	30日 13:00 岡
27日	27日
28日 12:30 岡	27日

【注】岡崎市民球場、岡崎市民球場、岡崎市民球場、岡崎市民球場

▼参加校 御津(豊川市)が新加入。部員不足のため、春日井、商と西陵は今回、連合チームで出場し、計18チーム。

## 選手宣誓は名古屋国際・小川

「緊張しそうですけど、チームの仲間力も借りてちゃんとした宣誓をしたい」。183センチ、80キロと体は大きいのが、名古屋国際打線では下位打者。そのデッカイ声を買われてキャプテンに就いたというから、宣誓役にはピッタリ。



選手宣誓役に決まった名古屋国際・小川主将が赤いマークが付いた自校の札を指さす。刈谷市総合文化センターで(阿知波浩一撮影)

今月に入っ  
て10本塁打と打撃  
好調の東邦の1番・関  
根大気中堅手。愛知県東  
郷町の同校グラウンドで

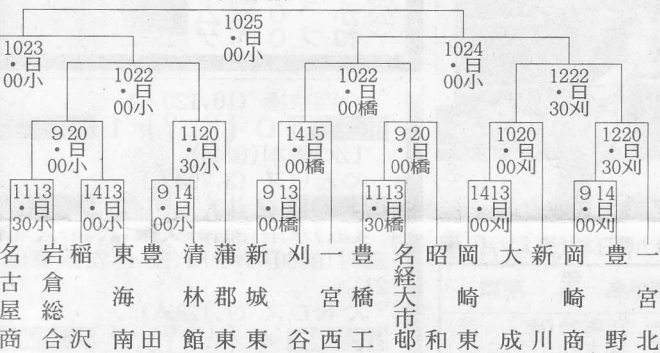
関根大気(せきね・たいき) 兼中堅手。東邦高では1年秋からベンチ入り。2年春に外野手としてレギュラー。その年の夏は背番号13。2年秋から「1番・中堅手」としてレギュラー定着。プロ野球で好きな選手は俊足の巨人・鈴木尚広外野手。

# 愛知大会

【注】熱=熱田、瑞=瑞穂、春=春日井市民、小=小牧市民、一=一宮市営、阿=阿久比、刈=刈谷、豊=豊田市運動公園、岡=岡崎市民、橋=豊橋市民の各球場。白字はシード校

## 【Aゾーン】

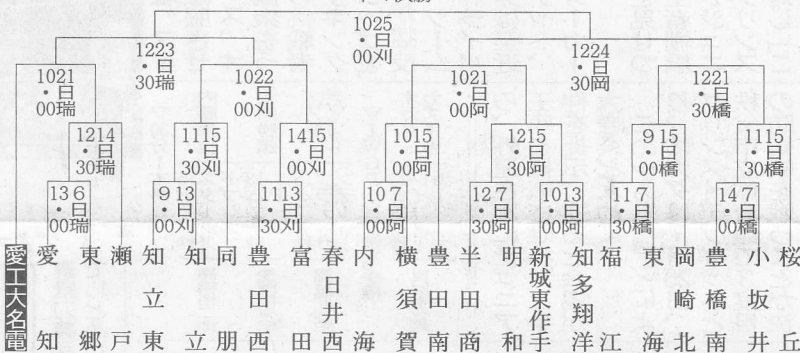
準々決勝へ



## 【Bゾーン】

## 【Eゾーン】

準々決勝へ



## 【Fゾーン】